

令和5年度 組織重点目標一覧

係名	具体的目標	達成水準	達成状況	達成状況評価
総務学事係	児童生徒が笑顔あふれる教育環境づくりへの支援	1 ホームページ、広報誌への掲載 2 実務内容（手段）の見直し	1 教育行政に関する記事及び各種支援事業等について、ホームページや広報誌を利活用しながら事業周知に努めた。 2 就学援助等の各種扶助費申請の際に添付する書類等の見直し（添付書類の省略可を実施。）を行い、事務の簡素化を図った。	B
学校施設係	ライフサイクルコストの縮減を意識した、持続可能な学校施設の維持保全を図る。	管理対象となる施設の状況把握を行いながら、長寿命化計画に沿った適切な維持管理を進め、また、令和7年度の利府町学校施設等長寿命化計画改定に向け予算措置等必要な準備を進める。	修繕等の件数 小学校 修繕 50件（内少額39件） 工事 10件 中学校 修繕 32件（内少額20件） 工事 6件	B
教育指導係	豊かな心を持つ人間育成のため、支援を要する児童生徒に寄り添い、個に応じた相談・支援体制の充実を図る。	1 スクールカウンセラー（SC）や心のケアハウス等と連携し、本町に合った相談業務や居場所づくりができるようSCのケアハウス兼務について運用方針を定め、事業の実施を行う。 2 地域の事業者と連携し、職場体験学習を実施する。	1 運用指針を定めたことで、不登校または不登校傾向にある児童生徒やその保護者に対する心のケアハウスでの支援を充実させるためのスクールカウンセラーの心のケアハウス勤務日を12回（1・2学期）設け、相談業務やケアハウスとの情報共有を行い、児童生徒や保護者の学校外における相談先の確保や支援の強化を図った。 2 4年ぶりの実施だったことから、各事業者や学校との連携にあたり業務改善、効率化を図りながら参加事業者や学校との調整を図るとともに、新規受け入れ事業所の開拓に努め、より多くの業種の参画を図った。 また、受入事業者に対する感謝の会を開催し長期に渡り受け入れいただいた事業者に対して感謝状等の贈呈を行った。	A
学校給食センター	学校給食を通して児童生徒の食文化や地産地消の理解を深めると共に、食育を通じた健康教育の推進を図る。	1 地産地消に関連した食育指導を献立表やキャロポテだよりを通して年間12回以上行う。 2 県内産、地場産品を使用した献立や郷土料理のメニューを年間20回以上行う。	1 学校給食センター年間指導計画を作成し、毎月の指導目標を設定し食育の推進を図った。指導目標では、食育の献立、箸を上手に使う日、みやぎ水産の日献立を年間を通して毎月実施し、食育指導を行った。 2 地場産物の使用においては、町内産に限らず県内産や地域の特産物などを活用することにより、使用頻度を増加に努めた。また、令和5年度新たに、町内産「あかもく」の給食での活用を試み、町内地場産物の使用品目を増やす取り組みを行った。	B